

第2回 SPARC Japan セミナー2020

# プレプリントは 学術情報流通の 多様性をどこまで実現 できるのか？

COVID-19を契機として、プレプリントの活用はますます加速しています。さらに、プレプリントの公開プラットフォームとして、オープンピアレビューから出版までのフローを含むF1000 ResearchやアカデミックSNSが登場し、学術出版社もプレプリントの公開を後押ししています。

本セミナーでは、多様なプレプリント公開の最新動向や目的を共有することによって、プレプリントの方向性を展望します。

パネルディスカッションでは、オープンアクセスリポジトリ連合(COAR)による『Bibliodiversity(書誌多様性)の形成に向けた行動の呼びかけ』で「学術情報流通における多様性の障壁」とされた、(1) 共通言語としての英語の優位性、(2) 基盤とサービスの集中、(3) 限定的資金モデル、(4) 学術雑誌ベースの評価という偏狭な視点の4項目に沿って議論します。

プレプリントの最新動向や、今後の学術情報流通のあり方についての熱い議論にご期待下さい！

2020.12.18(金)

13:00-17:00

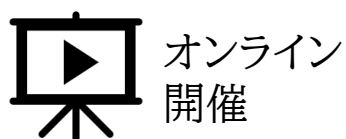
オンライン開催

講師(敬称略)

- 河合将志(NII/RCOS)
- 森本行人(筑波大学)
- Antoine Bocquet  
(Springer Nature)
- 坊農秀雅(広島大学)
- 引原隆士(京都大学)

## プログラム

13:00-13:05	開会/概要説明
13:05-13:35	機関リポジトリによるプレプリント公開 河合将志(国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター)
13:35-14:05	研究成果公開のグローバルスタンダードに向けた筑波大学の取り組み 森本行人(筑波大学 URA研究戦略推進室)
14:05-14:35	コロナ時代における研究情報発信 - プレプリントに関する出版社の取り組み Antoine Bocquet (シュプリンガー・ネイチャー(日本))
14:35-14:50	休憩
14:50-15:20	生命科学研究におけるプレプリントやSNS活用の現状と課題 坊農秀雅(広島大学 大学院統合生命科学研究科 生命医科学プログラム)
15:20-15:50	Preprint が誘導する研究サイクルの力学考 引原隆士(京都大学図書館機構長)
15:50-16:00	休憩
16:00-17:00	パネルディスカッション
17:00-17:05	閉会



参加申込:

2020年11月18日(水)より以下サイトにて受付開始

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2020/20201218.html>

※お申し込み後、Web会議システムへの接続先情報等をお送りします。



お問合せ先:

国立情報学研究所 SPARC担当 [sparc-seminar@nii.ac.jp](mailto:sparc-seminar@nii.ac.jp)

2020年度年間テーマ: 学術情報流通の新たな地平

~COVID-19を契機とした再検討~

第1回 2020年10月2日(終了) 研究データ公開:フルオープンと制限公開の境界線

第2回 2020年12月18日(金) プレプリントは学術情報流通の多様性を  
どこまで実現できるのか?

第3回 2021年1~2月(予定) 研究データ管理Part2:管理と公開の実際(仮)